

[ A類音楽コース, B類音楽コース 対象 ]

総合型選抜 問題

令和7年度

046

小論文

(1枚目)

注意事項

- ・開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。

## 総合型選抜 問題

令和7年度

### 小論文

(2枚目)

音楽が音だけで構成されるとは限らない。ナイジェリアのイボ族の場合、「音楽」を意味する言葉が同時に「踊り」も意味する。レソト族のように、踊りと音楽をはっきりと区別しない民族もある。サハラ以南のアフリカには、一定のリズムのない音楽、つまり踊れない音楽は音楽とみなさない地域もある。たとえ歌のようであっても、踊れなければただの叫び声とみなされる。

音楽に豊かな社会的機能があるということは、世界各地の様々な民族を調べればよくわかる。何らかの感情を表現することもあれば、人を楽しませることも、踊りの伴奏になることもある。ある儀式や制度の正当性を示すために使われることもある。社会の安定を図るために使われることもある。社会の安定を図るといっても、必ずしも、人々の一体感を高めることとは限らない。音楽を負の感情のはけ口として利用することや、普段は抑制されている反社会的な衝動を、音楽を利用して発散することが容認される場合があるのだ。アフリカには、政治体制への批判を口に出したり、文字に書いたりすることは禁じられているが、「プロテストソング」としてなら表現することが許されている地域もある。バリ島では、音楽を演奏する者や、踊りを踊る者は、人前で怒りなどの激しい感情を剥き出しにしていいことになっている。これは、コミュニティに属する人たちの抑圧された感情を代わりに発散させるという役割を担っているのである。セネガルのウォロフ族には、低いカーストに属する「グリオ」と呼ばれる語り部がいる。彼らは、貴族のために、感情を前面に出して音楽を演奏し、踊りを踊る。グリオは、激しやすく、感情豊かな人たちであるとされており、一方、貴族たちは、常に冷静で超然としていとされている。音楽や踊りは、この両者の「ステレオタイプ」を維持するためのものと考えられる。実際には、グリオにも冷静な人はおり、貴族にも感情豊かな人はいるはずだが、それとは無関係に、ステレオタイプが定められているのだ。グリオの音楽は貴族の代わりに感情を表現しているということも言える。音楽がなければ、彼らは、仮面をかぶり続けることができず、本来の性格を表に出してしまうかもしれない。

(出典：フィリップ・ポール著、夏目大 訳『音楽の科学—音楽の何に魅せられるのか?』 [新装版] 河出書房新社、2018年)

1. 下線部にある「両者のステレオタイプ」が示す内容を具体的に説明せよ。
2. 音楽における「社会的機能」を本文で述べられている内容以外に3つあげ、どのような機能であるのか、具体的な音楽をあげながら論ぜよ。